

授業科目名	介護概論 I	担当教員名	松葉 修孝
必修/選択	選択	開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 介護福祉士としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	『介護』は狭義の意味としては1対1で行う援助の中で、その専門的な知識・技術を用いて展開される。しかし、広義の意味で捉えると、日本のみならず世界中で課題となる大きな社会問題として捉えることができる。この介護概論 I では、『介護』を広義の意味で捉えながら、日本における介護とは人々にどのように伝わり、そしてどのようなことが現場で行われているのかを理解するとともに、一つひとつの課題に対して参加する学生たちに考えてもらい、将来訪れるであろう『介護』に対する意識を高めるとともに、一般的な介護知識を身につける。		
到達目標	(1)介護の目的、機能及び介護の展開方法を理解する。 (2)介護と家政、看護・医療との関係並びに範囲について理解する。 (3)身体的及び精神的な変化に対する観察能力を身に付け、それらの変化に速やかに正しく対処できる能力を養い、保健・医療機関、専門職との連携、協力及び必要に応じたその手助けをすることができるようにする。 (4)病气や遭遇しやすい事故についての知識をもち、それらに対する予防的措置を講ずることができるようにする。		
テキスト	テキストの使用なし。 毎回作成するプリントに記述し、授業終了時に回収し、次回に返却する。		
参考書・参考資料等	「介護概論」社会福祉学習双書編集委員会(全国社会福祉協議会)、「高齢者白書」(内閣府)、「障がい者白書」(内閣府)、見て覚える介護福祉国試ナビ		
成績評価の方法	参加意欲…10%、小テスト・レポート課題…30%、定期試験…60%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	介護の意義と目的① 介護の原則と介護者の職業倫理		
第2回	介護の意義と目的② 尊厳を支える介護と自立に向けた介護 (介護予防とは)		
第3回	介護の誕生と歩み① 介護の社会化前の介護の場とは		
第4回	介護の誕生と歩み② 介護の社会化後の介護の場と、介護を取り巻く今の状況		
第5回	介護の対象者とは① 高齢者の特徴と主な病气について		
第6回	介護の対象者とは② 障がい者の特徴と主な障がいについて		
第7回	介護における援助関係と利用者理解① 自己覚知と他者理解		
第8回	介護における援助関係と利用者理解② 社会福祉援助技術の視点とコミュニケーション		
第9回	介護と隣接領域との関係 医療・リハビリテーション・相談援助		
第10回	地域における介護福祉① 生野区の福祉について ～フィールドワーク～		
第11回	地域における介護福祉② 生野区の福祉について ～フィールドワークの発表～		
第12回	生活支援技術の基本① 自立支援と住環境整備		
第13回	生活支援技術の基本② 福祉用具の活用		
第14回	ATC エイジレスセンター見学および福祉機器の体験		
第15回	見学・体験の発表と講義のまとめ		
定期試験	筆記試験		